

ご挨拶



理事長 北川 博邦

平素より北陸経済研究所の活動をご支援いただいております会員企業の皆様をはじめ、関係各位に心より御礼申し上げます。

さて、このたび、沼田雅博前理事長の後任として理事長を拝命いたしました。責任の重さを痛感するとともに、地域経済の発展に貢献してまいれる所存です。

わが国の経済は、賃上げや設備投資の拡大など、長年の停滞から新たな成長局面への期待が高まる一方で、私たちを取り巻く環境は、これまでになく不確実性が高く変化の激しい時代を迎えています。

世界経済の先行きは依然として不透明です。中東情勢では一旦の停戦合意でエネルギー市場の過度な緊張が和らぐ場面もありましたが、地政学リスクが解消されたわけではありません。原材料価格や為替、国際物流などの動向は今後も企業活動に大きな影響を及ぼす可能性があり、北陸地域のものづくり産業にとっても予断を許さない状況にあります。

また、地方が直面する人口減少と少子高齢化も大きな課題の一つです。生産年齢人口の減少は人手不足を深刻化させるにとどまらず、地域産業の活力や地域コミュニティの維持にも大きな影響を及ぼしています。一方で、この課題を乗り越えるためには、生産性の向上や新たな産業の創出、多様な人材の活用を促す環境づくりなど、従来の発想にとらわれない取り組みが求められています。

さらに、生成AIをはじめとするデジタル技術の急速な進展は、企業経営や産業構造にとどまらず、地域社会そのものを大きく変えようとしています。そのスピードは凄まじく、こうした技術革新は、地方にとって新たな競争をもたらす一方で、地域の可能性を大きく広げる絶好の機会にもなり得ます。

このように不確実性が高まり、社会や経済の構造が変化する時代だからこそ、地域に根差し、シンクタンクとしての当研究所の役割は、これまで以上に重要になると考えています。

当研究所の徽章には、知恵の女神であるアテナの使いとされるフクロウの姿とともに「Ipsa Scientia Potestas Est(知は力なり)」の文字が刻まれています。これは哲学者フランシス・ベーコンの思想に由来する格言ですが、「知」とは単なる情報ではなく、人が適切に判断し、行動し、新たな価値を生み出すための基盤となるものです。私たちはそのような「知」を地域に提供する研究所であり続けたいと考えています。

これまで培ってきた調査・研究機能をさらに磨き上げるとともに、産学官金の皆様との連携を一層深め、地域の課題解決に資する知見を発信してまいります。「価値共創～北陸の確かな未来を地域とともに創造する」という理念のもと、変化を読み解く「知」の拠点として、多様な主体をつなぎ、新たな価値と可能性を生み出す共創の場となることを目指してまいります。

皆様におかれましては、今後とも変わらぬご支援、ご協力を賜りますよう、心からお願い申し上げます。